

留意事項

- 今回作成した津波浸水想定図は、科学的知見に基づき想定される最大クラスの津波が発生した場合の掛川市における津波浸水想定です。
- こうした地震・津波の発生頻度は極めて低いものであり、次に発生する地震・津波を示したものではありません。
- 今回のシミュレーションは、一定の条件を設定して算出したものです。地震・津波は自然現象で不確実性をともなうもので、計算結果と異なる場合もあります。



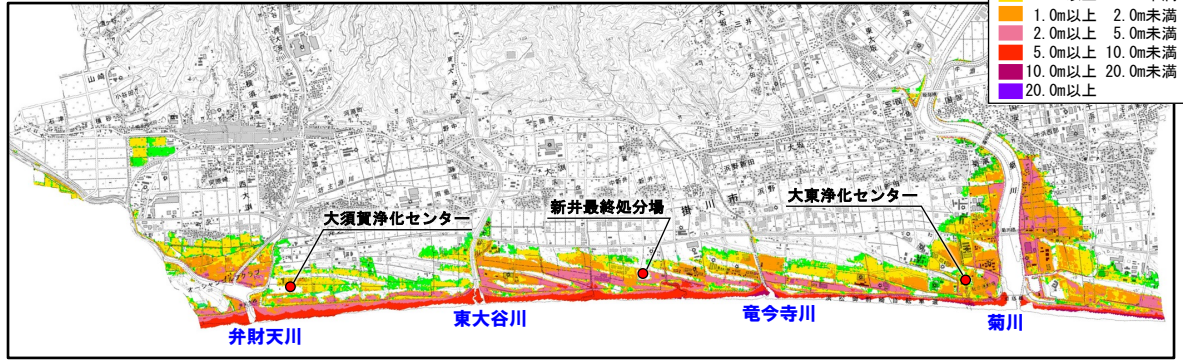
掛川モデルが完成しても
地震が来たら、速やかに避難を！！

海岸防災林強化事業掛川潮騒の社「掛川モデル」整備後の減災効果

レベル2津波来襲時浸水深図（比較図）

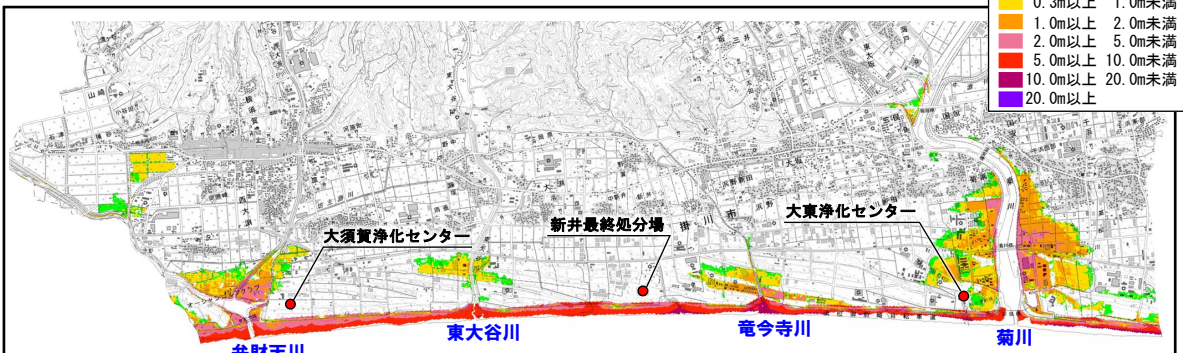
整備前

【浸水面積が最大となるL2津波】：4次想定浸水想定区域図
内閣府(2012)南海トラフ巨大地震モデル(ケース⑥)



整備後

海岸防災林強化事業「掛川モデル」の整備完了後

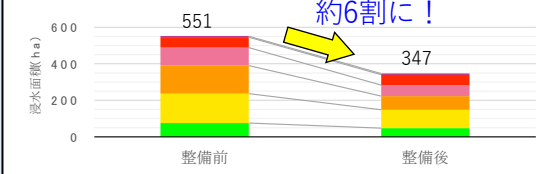


想定される最大クラスの津波（L2津波）による浸水面積は
約6割に減少！

減災効果

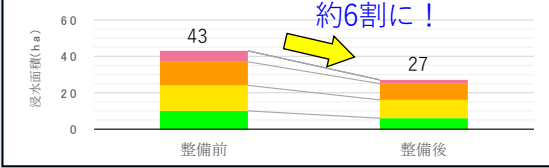
● 浸水面積でみる減災効果

浸水深	整備前	整備後	増減
0.3m未満	76	47	-29
0.3m以上 1.0m未満	160	101	-59
1.0m以上 2.0m未満	154	75	-79
2.0m以上 5.0m未満	99	60	-39
5.0m以上 10.0m未満	57	57	0
10.0m以上	5	7	2
合計	551	347	-204



● 宅地の浸水面積でみる減災効果

浸水深	整備前	整備後	増減
0.3m未満	10	6	-4
0.3m以上 1.0m未満	14	10	-4
1.0m以上 2.0m未満	13	9	-4
2.0m以上 5.0m未満	6	2	-4
5.0m以上 10.0m未満	0	0	0
10.0m以上	0	0	0
合計	43	27	-16



本シミュレーションは、地震後も「掛川モデル」の地盤嵩上げが維持され、その効果が最大限発揮された場合として、掛川市が独自に行ったものです。この比較図については、「掛川モデル」の整備効果を示しているものであり、河川堤防については、整備前と同様の条件で計算しています。地震・津波は自然現象で不確実性を伴うものであり、必ずしもこの想定どおりになるとは限りません。